

製品名: アクロシンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06527**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	ACR
別名	ACR; ACRS; Acrosin
遺伝子 ID	49.0
SwissProt ID	P10323
免疫原	アクロシン由来の合成ペプチド。AA 範囲: 40-120

背景

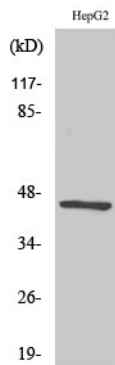
アクロシンは、成熟精子の先体中に存在する主要なプロテアーゼです。トリプシン様の特異性を持つ典型的なセリンプロテアーゼです。前駆体であるプロアクロシンの形で先体中に貯蔵されます。活性酵素は透明帯の溶解に作用し、精子が卵子の最内層糖タンパク

質層を通過するのを促進します。プロアクロシンの mRNA は、精子形成の減数分裂後期にのみ合成されます。ヒトでは、プロアクロシンは半数体精子細胞に初めて発現します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: 優先切断: Arg-|-Xaa、Lys-|-Xaa。、機能: アクロシンは哺乳類精子の主要なプロテアーゼです。これはトリプシン様切断特異性を持つセリンプロテアーゼであり、酵素前駆体であるプロアクロシンとして合成され、先体に蓄えられる。、類似性:ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。、類似性:1つのペプチダーゼ S1 ドメインを含む。、サブユニット:2つのジスルフィド結合によって連結された重鎖 (触媒) と軽鎖。、

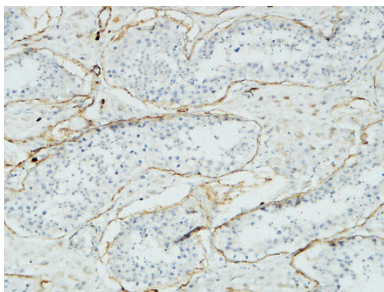
研究分野

-

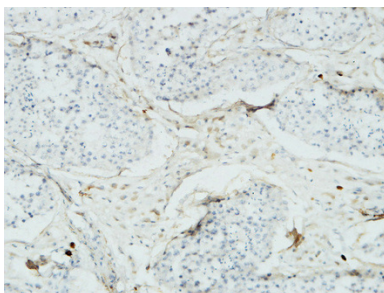
画像データ



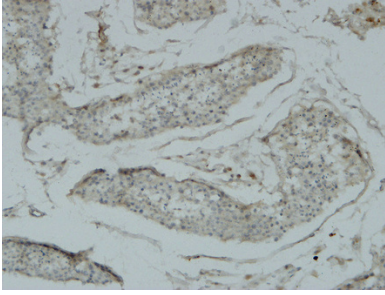
Acrosin ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。